

# 前進全新

令和5年12月20日(水)  
生徒会総務委員会

## 市尼に 空気入れとのれん がやってきた!!

今年行われた市高祭の、3年生による飲食店の売り上げで、みなさんからの要望があった、トイレの入り口に設置するのれんと、自転車の空気入れを購入しました。全員で大切に使うことを心がけましょう。3年生の皆さん、ありがとうございました。(生徒会総務委員会)

### <トイレののれん>

3階から5階全てのトイレの入り口に、中が見えないようにする「のれん」を設置しています。突っ張り棒で固定しているので落としてしまった時は必ず元の位置に戻すようにしてください。



のれんで手を拭いたり汚したりせず、綺麗に使いましょ。

### <自転車の空気入れ>

各学年の駐輪場近くに、自転車の空気入れを一つずつ設置します。

故障させることがないように、使用方法を守り、気を付けて使用してください。

不具合があった場合は、生徒会執行部にお伝えください。



トイレの「のれん設置」は、2年生のHさんとYさんによる案でした。小さなことですが、今回みなさんの意見を反映させて、実行することができました。このように、これからも皆さんの意見や要望を形にできるように活動していきたいと思ひます。

## ～塚口幼稚園・立花幼稚園にてボランティア活動～

12月13日(水)～12月15日(金)に絵本読み聞かせボランティア(幼稚園訪問)を行いました。今年には塚口幼稚園19人、立花幼稚園16人合わせて35人の生徒に参加していただきました。今回は塚口幼稚園へ参加してくれた参加者の感想文を一部紹介します。立花幼稚園については次号で紹介しします。

2年H組 鮫島 未来さん

今回、塚口幼稚園での「絵本読み聞かせボランティア」に参加しようと思ったのは、現在教育系の進路を選択肢のひとつに入れているからです。今の高2世代は中学2年生の時にコロナウイルスの影響でトライやるウィークがなく、職業体験をすることができませんでした。そのため、視野に入れている以上、このような貴重な機会はないと考え参加しました。

実際に園児と関わってみて、正直私には幼稚園の先生は向いていないのかもしれないと思ひました。本当に癒されたし、みんなとたくさん遊んで園児のパワフルさから元気をもらいました。その一方で、難しいと感じることも多々ありました。自分から話すのが苦手な子への接し方、子ども

ちが喜ぶツボはどこか、ひとりである子や英語を話す子とどうコミュニケーションを取ればいいのか、終わった今でも正解が思ひつきません。

1年生は園児たちと打ち解けるのがうまいなと思ひていました。子どもたちみんなの名前を覚えてみんながついていきたくなるような子たちが多く圧倒されました。そういう人たちを見ると自分に何ができるのか不安になりました。「楽しい」だけでは成り立たないお仕事だし、命を預かる以上、生半可な気持ちではできないと痛感しました。でも、子どもたちとたくさん関わったこの経験と、実際に体験したからこそ気づくことのできた大変さは、今後の進路選択にプラスに働いてくれると思ひます。このような素敵な機会を提供していただきありがとうございました。

1年D組 坂巻 爽月さん  
ボランティア活動に参加することで今までできなかったことを体験し、将来にも何か生かせると思ひ参加することを決めました。自分より十歳ぐらい歳下の子と関わるのが久しぶりで少し緊張していましたが、それと同時にワクワクしてました。

幼稚園に着いてから最初に溝の掃除や飾りを作る作業は、集中することができ楽しかったです。そして幼稚園児たちが園内に帰ってきて一気ににぎやかになり、元気な挨拶が聞こえてきました。いざ子どもたちと遊ぶとなると手を広げて私に抱きついてくれたり、一緒に遊ぼうと言ってきて本当にうれしかったです。一緒に遊びながら、すごく小さいなと思ひ驚きました。私も小さい時はこんなに小さかったのかと思ひました。そして、子どもたちが話しかけてくれる時、目を合わせて一生懸命話してくれるので聞き取れるようしやがんで近づき会話をしました。

遊んでいて思ったのは、子どもたちの体力が凄すぎることです。思っていた以上に元気で私まで元気をもらえたような気がして、もっと体力をつけなければと思ひました。遊びが終わり片づけをし、帰りの準備をした後、子どもたちとお別れの時に前で歌をうたってくれたのが「もう終わっちゃたのか」と寂しく思ひましたが、嬉しかったです。

今回初めてのボランティアでしたが、地域の人と関わることの楽しさや、大切さを知りました。そして子どもたちと遊び、たくさんを知ることができました。またこういう機会があれば積極的に参加したいと思ひました。



2年G組 藤井 結菜さん  
私は、中学2年生でトライやるウィークがなくなり、将来の夢である保育士の現場に行くことができなかったため、絵本読み聞かせボランティアに参加しようと思ひました。私は1日目と3日目に塚口幼稚園に行かせてもらい、たくさん子どもたちと触れ合いました。

名札を見て「ゆいなちゃん」と呼んでくれる女の子、外遊びの時に逆上がりを見せてくれる女の子、少しシャイだけど、話していくうちに自分から話してくれるようになった男の子…色々な個性がある子どもたちと2日間たくさん遊んで、たくさん楽しむことができました。遊ぶうちに、一人ひとりの個性が見えてくるのがとても楽しくて、もっと来

の用意をするなど、少しだけ、幼稚園のウラ側の仕事も経験できました。子どもたちが過ごしやすくなるように、幼稚園の先生が色々なことをウラでしてくれているのだと知ることができました。

今回、実際に幼稚園に行き子どもたちと触れあったり、園のウラ側の仕事をしてみて改めて、「保育士になりたい」と強く思ひました。

幼稚園に行ったのは2日間だったけれど、保育士になって、近くで子どもたちの成長を見守ったり、子どもについてもっと知りたいと思ひました。

これからもこのような機会があれば、積極的に参加して、少しでも、保育士になるという夢に近づきたいです。



たいな～と思ひました。ボランティアでは、子どもたちと遊ぶ以外にも幼稚園の溝の中を掃除したり、子どもたちが帰った後の教室掃除をしたり、制作のため



(写真上)園児たちとお絵描きをしている様子

(写真左)描いた絵をお姉さんにみってもらってる園児



(左)塚口幼稚園の園児たちと塗り絵をしている様子。(中)ジャングルジムでお姉さんと(右)雲梯で元気に遊ぶ園児たち

